

# 令和7年度 生徒指導 指導方針

多可町立加美中学校

## 1 本年度の生徒指導方針

「生徒ファースト」・・・生徒を前に進める → 生徒が前に進む  
の考え方のもと、以下のア～オの目標を掲げる。

ア 校訓「自主 創造 友愛」

自主・・・自分の考えをしっかりと

創造・・・たくましく生活をきりひらこう

友愛・・・お互いの人格を大切にしよう

イ 学校教育目標「いのちと人権を大切にし ふるさとを愛し ころろ豊かで夢に挑戦  
する 自立した生徒の育成」

・・・「安全でだれもが安心できる誰1人取り残されない学校づくり」を目指す。

ウ 生活三訓「時を守り 場を清め 礼を正す」の三本柱を軸にし、基本的生活習慣や  
規範意識の育成を図っていく。

エ 1人1人の生徒に対し、共感的理解に基づいた信頼関係を大切にする。

※教師1人1人がキーパーソンを目指す。

オ 生徒「指導」ではなく、生徒「支援」を意識する。生徒自ら考え、体験し、自己を  
知ることで、進路を切り拓いていくための「自己指導能力」を高めることを目指す。

## 2 実践

### (1) 生徒の実態把握と指導体制の確立・指導方法の充実

① 毎水曜日に短時間の職員会議「情報交換会」を設け、校務支援システムの生徒指導台帳を全教職員が閲覧する。その際既読をつけ、教職員間で同じ情報を共有したことを確認する。積み上げたデータから指導上の課題を発見する。

② 必要に応じ職員会議の中で、いじめや問題行動、不登校生徒の現状を把握し、指導方針について検討する。全職員の足並みをそろえる。

③ 「学校生活相談シート」（1学期2回・2学期3回・3学期2回・計7回）を全校生に（ついて）行い、生徒指導部会においてその結果を分析する。

● 2学期の1回目は、夏期休業中の8月末（登校日）に実施。

● 3学期の1回目は、1月始業式の日実施。

※長期休み中に出了トラブルや課題についての悩みなどを打ち明け、安心して新学期のスタートがきれるようにすることが目的である。問題の早期発見・早期解決に向け、チームで指導に当たる。

（保護者には学期に1回実施・計3回）

④ 「生活ノート」の日記や日常の会話より生徒との信頼関係の構築を図る。

⑤ 道徳・人権教育を基盤とし、学校教育活動全体において、思いやりの心を育て対話的で深い学びにつながる授業作りに励む。お互いに違いを認め、尊重しあ

える生徒の育成を図る。

- ⑥ SCによる「心の健康教育」授業を全生徒対象で実施し、ストレスチェックを含めフィードバックする。(学期1回)

## (2) いじめ・不登校生徒への対処及び指導について

### ① いじめ等人間関係のトラブルの早期発見・解決

- ・いじめについては、「多可町いじめ防止基本方針」及び、「加美中学校いじめ基本方針」等に基づいて、迅速かつ組織的に対応する。
- ・「いじめ対策委員会」を組織し、学校長を中心に組織で対応しながら、適宜関係機関と情報交換を図り、観察しながら解決を目指す。
- ・経過観察においては被害者及び加害者の保護者と連絡を密にする。(3ヶ月間)
- ・毎月1日の「いのちと人権の日」において、いのちの大切さを認識させる。  
※人権担当や生徒会担当とも連携をはかる。
- ・「学校生活相談シート」を実施する。

5月・7月・8月・10月・11月・3学期始業式・2月の計7回実施。迅速に生徒の指導につなげる。

- ・日々の「生活ノート」の日記を通して、生徒の変化を一早く発見する。

※どの事例も重大事案につながる可能性があるという認識の上で対応にあたる。

### ② 不登校生徒への対応

- ・不登校生徒への初期対応の仕方と不登校の原因究明の方法について研修を深めるとともに、町の「多可町子育て・学校園サポートチーム」や県の関係機関との連携を図る。
- ・不登校、不登校傾向生徒への支援・指導を、生徒支援(不登校)担当・学年主任・担任・スクールカウンセラー・スクールラブ・養護教諭等と連携して行う。  
また、上記のメンバーで生徒支援委員会を組織する。

---

#### ●長期欠席が続いている生徒への対応(不登校対策支援プランをもとに対応)

→積極的な登校刺激を行うか、本人と一定の関係を保ちながら学校の状況を伝えてやるかなど、どの程度のアプローチを施すのか、保護者と本人の現状や意向を踏まえ、一緒になって考える。(全職員で共有)

#### ●不登校傾向にある生徒への対応

→毎月、数日間欠席が続く生徒に対しては、欠席の原因を確認し、欠席が長引かないような対応を考える。

#### ●突然の欠席が続く生徒への対応

→チームで早期対応することを考え、確実な情報をできるだけ早く職員で情報共有しておく。

**欠席1日目** … 朝の時点で保護者からの欠席連絡がない場合、こちらから電話連絡し理由を確認する。

**欠席2日目** … 体調不良による欠席であっても、本人の現状把握のため保護者に電話する。

**欠席3日目** … 家庭訪問をするか保護者に来校してもらい、何らかの事情がある場合は、本人や保護者に丁寧に事情を聴き、今後の対応について早急に協議する。

### ③ 生活・登下校指導

- ・生徒会生活部の服装点検を全校朝会及び学級の HR で実施する。
- ・職員、PTA による校門及び重点区域の登下校の安全指導を実施する。
- ・学期 3 回交通安全指導を実施（定期考査中の朝）

	1 学期 (第 1 回定期考査)	2 学期 (第 3 回定期考査)	3 学期 (第 4 回定期考査)
1 年生	豊部	加美中前	農協前
2 年生	加美中前	農協前	豊部
3 年生	農協前	豊部	加美中前
豊部（7：40～8：00） 加美中前（7：50～8：10） 農協前（7：30～7：50）			



## ●指導内容

- ・横断歩道は自転車を降り、歩いて渡る。(自転車から降り、歩行者になることで優先的に渡ることができるが、それでも注意して渡るよう促し生徒の安全意識を高める。)
- ・自転車横断帯がある場所も最大限の安全確認のため歩いて渡る。
- ・あいさつをする。

### ④ 長期休業中の指導

- ・休業中の生活指導内容を保護者にも面談及びプリントで説明し、家庭との協力関係を密にしていく。
- ・長期休業中の、部活動参加状況で気になる生徒がいたら、部活動担当と担任で情報の共有をはかる。

### ⑤ SNS の使用

- ・生徒の SNS 使用に関する問題にその都度対応できるよう、教師の知識をアップデートしていく必要がある。また、教師自身の SNS 使用に対する意識も高める。

## ●Chromebook 使用上のルール ※生活ノート p 10 参照

### (安全上のルール)

- ・危険なサイトにアクセスしない。
- ・自分や他人の個人情報をインターネットに上げたり、他の人に送ったりしない。

(情報モラルに対する指導)

### (取り扱い上のルール)

- ・大切に扱う。専用のケースに入れ持ち運ぶ
- ・故意に壊した場合は弁償とする。

### (健康上のルール)

- ・就寝 1 時間前からは使わない。
- ・30 分に 1 度は目を休ませる。(画面を長時間見続けない)

※各家庭と連携し、生徒のよりよい生活につながるよう指導を継続する。

## (3) 地域との連携について

- ① PTA で書面審議を行うなど保護者が学校運営に関わる機会をはじめ、学校通信・学年通信・HP を通じ、学校情報を保護者・地域に発信していけるように努める。
- ② 保護者や地域の意見を聞き、職員で情報を共有しながら確実に、かつ誠実に対応していく。また、民生児童委員との情報交換会を持つ。
- ③ オープンスクールや授業参観等を通し、開かれた学校をつくとともに、ボランティア活動を重視し、地域に関心を持たせ、町内外で生徒の活躍の場を設けられるよう企てる。